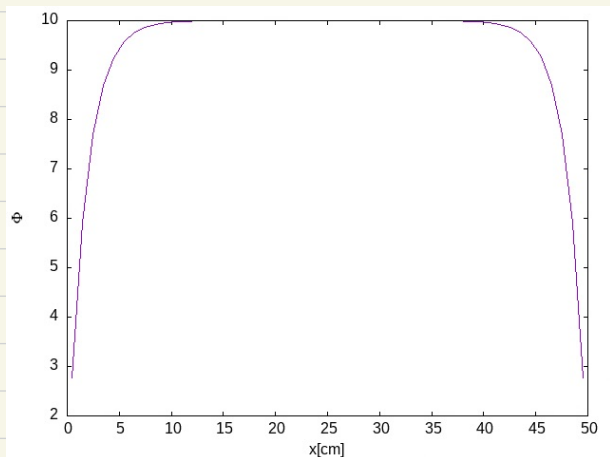
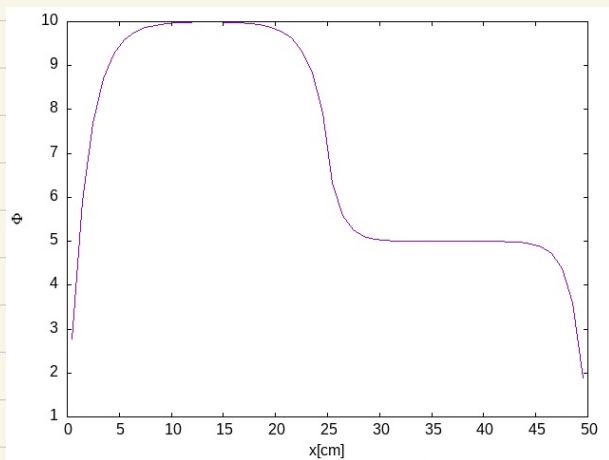


問1



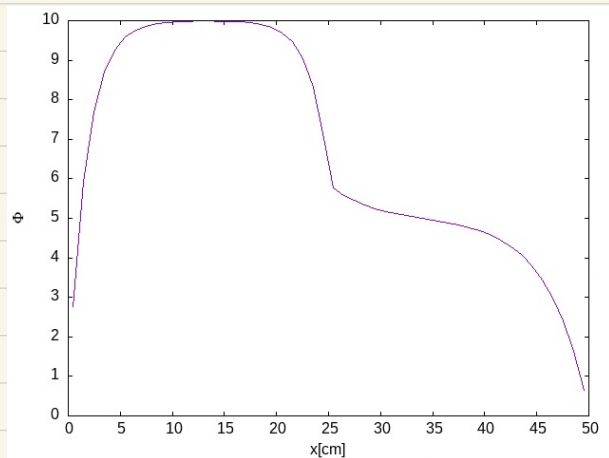
このように、第3回で得た結果と同様のものが得られた。

問2



I_a が2倍になった 25 cm付近で中性子束が半分に15、16の
様子も確認できる

問3



問2と比較すると、25cm付近での変化が連続的ではない点があり、
この付近での右側の値が問2よりも大きくなる点がある。

これは、

$$-D_1 \frac{d\phi_1}{dx} = -D_2 \frac{d\phi_2}{dx}$$

の D_1 と D_2 が異なるため、不連続な変化が生じ、右側の D_2 が大きいため、
左側の中性子束の影響を受けたため、値が大きくなる点と考える。